

2017年4月27日

報道関係各位

**落語を楽しみながら大阪の歴史にふれる、
「道修町たなみん寄席」が始まります！**

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之、以下「当社」）は、2017年6月17日（土）、「くすりの町」として知られる大阪・道修町（どしょうまち）に構える本社ビルにおいて、落語を通して大阪の歴史を学ぶ落語会「道修町たなみん寄席」を開催します。

落語会は、大阪で人気の高い伝統芸能である落語の上演と共に、その背景となった大阪の歴史についての講演を行うことで、大阪の歴史・文化に気軽に親しんでいただける機会にしたいと考えています。

また、落語会の企画・運営につきましては、大阪・中之島のフリーマガジン「月刊島民」の編集およびナカノシマ大学において落語会開催の実績を持つ株式会社140Bと連携し、進めてまいります。

当社は、一昨年より本社ビル内に開館した田辺三菱製薬史料館を通じて、1678年の創業から続く当社の歴史資料や企業活動とともに、道修町の歴史や文化を紹介しています。今後、「道修町たなみん寄席」を年2回のペースで開催し、くすりの町・道修町から、大阪の文化を発信する新たなイベントに育て、地域社会により一層貢献してまいります。

◀ 本件に関するお問い合わせ先 ▶
田辺三菱製薬株式会社 広報部
TEL：06-6205-5211

◀落語会の内容、申し込み方法、取材に関するお問い合わせ▶
株式会社140B
TEL：06-4799-1340

【開催概要】

大阪・船場、くすりの町の落語会

道修町たなみん寄席

第1回「水の都、大阪の夏」

船遊びの登場する落語2席を上演します。また、落語のネタの背景となったかつての水辺のにぎわいについて、歴史的見地から概観する講演を行います。

日程：2017年6月17日（土）

時間：14：00～16：00（受付開始13：00～）

会場：田辺三菱製薬本社（大阪市中央区道修町3-2-10）

出演：〈落語〉桂九雀「遊山船」 笑福亭たま「船弁慶」ほか

〈講演〉高島幸次（大阪大学招聘教授・大阪天満宮文化研究所）

入場料：1,000円（資料代含む）

定員：150名（要事前申し込み・先着順）

主催：田辺三菱製薬株式会社 企画・運営：株式会社140B

申し込み方法：ハガキ、FAX、もしくはインターネットの申し込みフォームにて受け付けます。

〈申し込み先〉

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

株式会社140B内 「道修町たなみん寄席」受付係 FAX.06-4799-1341

◎道修町たなみん寄席 web サイト

<http://www.tanamin-yose.net/>

※落語会の開催前後には「田辺三菱製薬史料館」をご見学いただけます。

株式会社140Bの概要

株式会社140Bは、2006年に大阪の中之島にて創業した出版社です。2008年の京阪電車中之島線開業と同時期に、中之島のフリーマガジン『月刊島民』を創刊し、2017年4月現在は第105号を配布中です。2009年からは同誌が主催する「ナカノシマ大学」において、大阪の歴史や文化についての講座・対談などを毎月開催しているほか、落語会も数多く手がけており、2016年11月22日に田辺三菱製薬の本社ビルで行った「落語で楽しむ！ 道修町と神農祭」は、250名の参加者を集め大好評を博しました。

<http://140b.jp/>

<http://www.nakanoshima-univ.com/>

田辺三菱製薬の概要

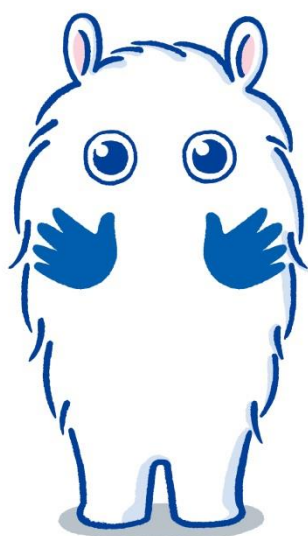
田辺三菱製薬は、1678年に創業、日本の医薬品産業発祥の地である大阪の道修町に本社を置き、医療用医薬品事業を中心とする国内上場企業としては最も歴史ある老舗企業です*。「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します」という企業理念のもと、中期経営計画16-20では「Open Up the Future – 医療の未来を切り拓く」をキーコンセプトと決めました。重点疾患領域である「自己免疫疾患」「糖尿病・腎疾患」「中枢神経系疾患」「ワクチン」を中心に、アンメット・メディカル・ニーズに応える医薬品の創製を通じて、世界の患者さんの健康に貢献していきます。<http://www.mt-pharma.co.jp/>

※東京商工リサーチ調べ

田辺三菱製薬キャラクター たなみんの紹介

2016年6月に登場した田辺三菱製薬オリジナルキャラクター「たなみん」は、当社のさまざまな広報活動で活躍しています。たなみんの特徴は、大きな青い手とフワフワ真っ白な毛で、イベントでは出会った人々をギュ〜と抱きしめて元気にします。

たなみん



フワフワ真っ白な毛に覆われた、大きな青い手を持つ妖精。
その手でどんな相手でもぎゅっと受け止め、包み込む。
ハグされたものはその心地よさにひとたび眠りにつき、
起きたときには病が治っている、こともあるとか。
つられて自分も寝てしまうというマイペースさも。
ボーっとしているように見えるけれど、大きな目と耳で道修町中を
観察し、おいしそうなお菓を見つけたり、みんなの健康を見守っ
ている、らしい。

性別	不明
生息地	ハグハグの森（道修町と秘密の道で繋がっている）
性格	穏やかでマイペースだが正義感が強い
好きなこと	ハグなどスキンシップ全般・子守唄・寝ること
好物	菓草・スパイス
鳴き声	ギュ〜（喋るより、触れ合いたい）



大阪・船場、
くすりの町の落語会

道修町 たなみん寄席



初めまして。
たなみんです！

第1回「水の都、大阪の夏」

夏の大阪といえば、今も昔も船遊び。
粋で、華やかで、ちょっと滑稽な夏の風物詩を、落語でたっぷり楽しんでください。

落語



桂九雀
「遊山船」



笑福亭たま
「船弁慶」

開口一番
桂弥っこ

お囃子
岡野鏡

講演



高島幸次
(大阪大学招聘教授・
大阪天満宮文化研究所)
「落語に見る
水の都のすがた」

6/17 (土)

2:00PM~

入場料 1,000円(資料代込み)

定員 150名(要申込・先着順)



大阪・船場、くすりの町の落語会

道修町たなみん寄席

「たなみん」って？

ふわふわで真っ白な毛に覆われた、大きな青い手を持つ妖精。その手でどんな相手でもぎゅっと受け止め、包み込む。

ハグされたものはその心地よさにひとたび眠りにつき、起きたときには病が治っている、こともあるとか。田辺三菱製薬のキャラクターとして活躍中！

大阪の夏の遊びは、粋で、華やかで、おもしろかった。



夏の大阪といえば、今も昔も船遊び。今回から始まる「道修町たなみん寄席」第1回では、夏の大阪を彩った船遊びの登場する落語2席をお楽しみいただきます。また、講演では、大阪の歴史研究者である高島幸次先生に、さまざまな史料や絵図を紹介しながら、落語ネタの背景となったかつての水辺のにぎわいを解説していただきます。

粋で、華やかで、ちょっと滑稽な夏の風物詩を、お囃子も入るにぎやかな落語と講演でたっぷり楽しんでください！

「川崎ノ渡シ月見景」(「浪花百景」より)
大阪府立中之島図書館蔵

「道修町たなみん寄席」開催にあたって。

船場の道修町に新本社社屋が竣工してから、早2年が経ちました。同ビル内の「田辺三菱製薬史料館」には、2年間でのべ15,000人の方にご来館いただき、延宝6年(1678年)に創業した当社の歴史を中心に、「くすりの町 道修町」についても親しんでいただきました。

製薬会社の社会的責務は、「世の中に役立つ薬を研究・開発し、人々の健康に貢献すること」がまず第一です。当社が300年以上続いているのは、その使命を果たし続けているからだと思っています。一方、専門的で内向きな業界と見られがちで、世間から理解されにくい面があるようです。



田辺三菱製薬株式会社
取締役会長
土屋裕弘

そんな現状を打破すべく、私たちは地域のみなさんに当社のことを知ってもらう機会を、これからも企画したいと考えています。それが史料館であり、今回開催する「道修町たなみん寄席」です。上方落語を通じて、「くすりの町」の歴史を楽しく学んでお帰りください。

第1回「水の都、大阪の夏」桂九雀「遊山船」笑福亭たま「船弁慶」ほか

日時 6月17日(土) 2:00PM~4:00PM頃(受付開始1:00PM~)

会場 田辺三菱製薬本社

入場料 1,000円(資料代込み) 定員 150名(要申込・先着順) ※定員に達し次第締め切ります。

ハガキ、FAX、もしくはインターネットの申し込みフォームからお申し込みください。

ハガキ、FAXでお申し込みの方は、お名前・ご住所・電話番号・参加人数(応募1通につき4名まで)を明記の上、下記までお送りください。

なお、複数名でご参加希望の場合は、代表者の方の必要事項を明記してください。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「道修町たなみん寄席」受付係 FAX.06-4799-1341

<http://www.tanamin-yose.net>

◎ご参加までの流れ

①お申し込み

インターネット、ハガキ、FAXで受け付けています。

②受講票発送

5月15日前後から発送を開始します。

③当日お支払い

当日、会場に入場料をお支払いください。

お申し込み先着順に整理番号を発行し、当日はその番号順にご入場いただけます。整理番号は受講ハガキに記載していますので、必ずご持参ください。

※受付開始時間より前にお越しいただいても、早く入場できるわけではありません。

お問い合わせ ☎06-4799-1340

(道修町たなみん寄席事務局・株式会社140B内)

主催/田辺三菱製薬株式会社 企画・運営/株式会社140B



道修町の歴史がよくわかる
田辺三菱製薬史料館を
見学いただけます。

